

発行・星野雅春後援会
所在地・刈谷市高須町
電話・23-5650
編集責任者・星野雅春
毎月30日発行・無料

ほしの雅春ニュース

「地域担当職員」の制度化を急げ!

改めて市に求める・

刈谷市内のある地区では、市民館に地区独自で職員を雇用する経費を自治会経費として区民から徴収しています。これによって自治会役員の負担軽減や事務や地域の課題解決に大きく貢献していると聞きます。市は、半田市の「地域担当職員」や地区の努力を謙虚に評価、検証すべきです。

いわゆる町内会や自治会の活動がここ数十年で大きく変化してきました。平成7年の阪神淡路大震災や、平成23年に発生した東日本大震災は、いざとなれば「公助」は期待できないことから、地域で「共助」「自助」する組織として地域防災組織が多くの地域で結成されました。社会参加による女性の働き手の増加など、地域活動する担い手の不足が顕著になっています。さらに追い打ちをかけたのが「コロナ感染拡大」による行事の中止などが続き、伝統的な地域の活動そのものに「なんでも実施するのか?」なくなっても誰も困らない行事が本当に必要か?といった、そもそも論も

ほしの雅春 市議



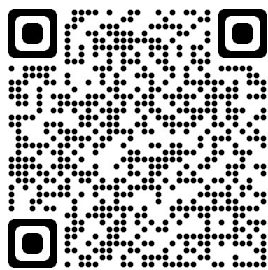
さらに、大阪府内の市立小学校への乱入、児童殺

行政の下請け組織?

「地域」は行政の「先端」職員」の制度化、配置を求めてきました。先進市

12月議会のお知らせ (10時開会)

- 11月30日(水) 本会議、一般質問
 - 12月1日(木) 〃
 - 12月2日(金) 〃 議案説明
予算審査特別委員会
 - 12月6日(火) 企画総務委員会
 - 12月7日(水) 福祉産業委員会
 - 12月8日(木) 建設委員会
 - 12月9日(金) 市民文教委員会
 - 12月15日(木) 予算審査特別委員会
議会運営委員会
 - 12月16日(金) 本会議
- ぜひ傍聴へお出かけください。



半田市地域担当職員制度。携帯のQRコードリーダーで読み取れば閲覧できます。



である半田市は平成26年からこの制度を実施しています。目的は自治会が多様なニーズの変化に対応するため、市職員が地域におもむき、会議やイベントに参加することにより、地域の現状把握や現状に合った支援を行うとしています。もはや、役員の待遇改善や負担軽減と言った場当たりの問題ではなく、地域と行政との根本的なかかわりを考えていく必要があります。12月議会予定。

青雲の声

北の將軍様、今年に入って50発以上のミサイルを打ち上げた。国民生活を顧みず、在庫一掃処分するかのよう。おかげで「遺憾だ!」「断固抗議する」も大安売りだ。ミサイルが通過した後作動する、まるでコントのような「Jアラート」という「空襲警報」。「核」には「核」とばかりに、核兵器保有論、敵基地攻撃が声高に叫ばれる。そのための増税も議論される。1984年当時の胡耀邦総書記の日本青年3000人の招待者の一人として訪中した星野。日中双方の青年2万人が集う北京首都体育館。日本側代表の「日中の青年は再び銃をとることのないよう誓う」とのあいさつにひととき大きな拍手が響き、胸に迫るものがあった。先の大戦後の日本国民の「不戦の誓い」、「日中青年不再戦の誓い」はマボロシか?否!嗚呼



市役所の怠慢と無策、議会の無能ぶりを象徴していて、「たまらない！」

一刻も早い修繕工事を実施せよ！！

8か月待ってって・・・そんなのあり？ 刈谷市議会議員 ほしの雅春

EVが故障し修理して、利用できるまで8か月間使用できないって、現実的にあつていいのか？近くにEVあるじゃん！と言われても・・・

刈谷駅を利用する方はすでにご存知のことと思います。南口みなくる広場東、サイゼリア前のエレベーター（以下EV）が故障しています。EV前にはトラ柵が置いてあり、張り紙がしてあります。「修理対応中、復旧は令和5年3月を予定しています。」だつて。

近くのEVに迂回しろ

この間、なかなか修理が終わらず利用できない人からお叱りの声をいただいています。このEVは今年の7月の豪雨によって、EV内の底の部分にあたるピットに雨がたまり、EVの電気部品に不具合が生じ、故障しました。市は、原因究明に時間がかかったとしていますが、7月から令和5年の3月末は、余裕を見ていると言

徴していて、たまらない気持ちになります。原因調査は重要としながらも、修理は一刻も早くする必要がありま

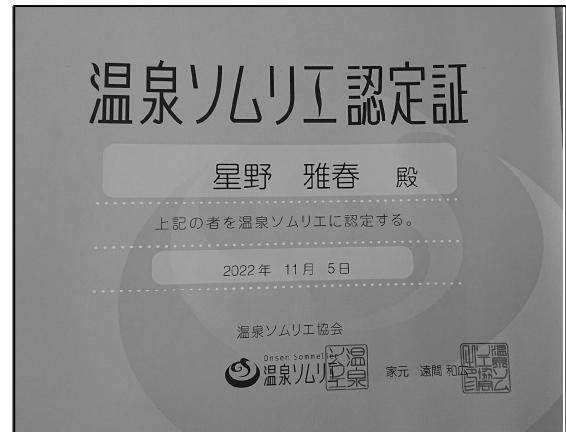
す。12月議会の決定を待つことなく、市長の専断事項で工事を進めればいい話です。他の予算項目からの流用でいくらずい予算は捻出できたはず

「役所の無策と怠慢、議会の無能と無力」を象



紙を目にします。見たら「役所の無策と怠慢、議会の無能と無力」を象

「普通におきる豪雨」として、設計基準の見直しなどが必要なのかもしれない。階段も遠回りも問題ない健康者には、さして問題ないのかもしれない。利用者



「入浴事故」の多くは「高齢者」「冬」「熱い湯」で起きています。入浴前の水飲み、十分なかけ湯が必要。分かってるんだけどねえ・・・

目の不自由な人のために、センサーで反応し、エレベーターが故障していることをアナウンスしています。でもそれを聞いた人はどうすればいいのか、わかるのか不安です。近くにEVがあるから迂回して！も分からなくはありません。迂回も階段も無理なくできる人はいい。でも、足が痛いけど、少しの間だから我慢して階段使うわと言った人、股関節が痛く歩くのもつらい人、こういう人たちに優しい思いが伝わっていないことが問題です。



編集後記

今の住宅は2重サッシが当たり前で、高気密高断熱で、比較的室内の寒暖差は小さくなっている。が、従来の土壁や木製建具などの在来工法だと隙間だらけで、それだけに室内の寒暖の差が激しい。年間風呂場でなくなる人は交通事故死亡の4倍と言われている。だからというわけではないが、「温泉ソムリエ」という資格？を取得した。お風呂の正しい入り方、温泉の成分による効能や、湯冷め湯あたりの情報、快眠入浴法、美人入浴法なんてのもある。ちょっとかじっただけで、偉そうには言えないが、正しい入浴法によって、周りの人の健康、長寿にちょっとは貢献できるか？露天風呂で雪を見ながら日本酒でいっばいなんて、めちゃめちゃリスキーな場面にあこがれる私たち。お風呂好きなのねー。この冬、要注意だ！

